

第2回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会 会議録

会議名	第2回橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会		
日時	令和3年9月16日(木)午後1時30分～午後3時20分		
場所	橋本市教育文化会館3階第3研修室		
出席者	委員 (敬称略)	乾 幸八 田村 亜美 玉井 勝代 森川 嘉久 岸田 昌章 東 美樹	前田 陽一郎 森田 知世子 佐藤 陽子 今田 実 戸島 浩子 平田 敬二
			平家 利也 井澗 千恵子 是枝 美海 上田 ひと美 中谷 維志 【出席委員：17名】
欠席者	委員 (敬称略)	堀内 秀雄 【欠席委員：1名】	
事務局		総合政策部長 上田 力也 政策企画課長 中岡 勝則 政策企画課長代理兼地域振興係長 前川 朋久 地域振興係主査 上原 慎太郎 地域振興係副主査 乾 沙也香	
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 報告</p> <p>① 自主交流会</p> <p>② アンケート調査結果</p> <p>③ まちづくりパンフレット</p> <p>3. 議事</p> <p>① はぐくむサポーター交流会</p> <p>② グループ分け</p> <p>③ すこやか橋本 まなびの日</p> <p>④ その他</p> <p>4. 閉会</p>		
資料	<p>資料1 自主交流会報告</p> <p>資料2 はぐくむ委員へのアンケート調査結果</p> <p>資料3 まちづくりパンフレット問合せ</p> <p>資料4 令和3年度すこやか橋本 まなびの日概要</p>		

1. 開会

乾副委員長より開会挨拶

2. 報告

① 自主交流会

戸島委員より報告

【委員質問、意見なし】

② アンケート調査結果

事務局より報告

【委員質問、意見】

- ・以前使った議事録作成のための機材は持ってきていないのか。
- はぐくむ委員会の議事録は要約であるが、議事録作成の機材は会議内容を一言一句書き起こすため、会議内容によって、機材の使用を考えている。

③ まちづくりパンフレット

9月広報配布時に回覧を行った、まちづくりパンフレットに関する問い合わせについて事務局より報告

- ・今後広報を行う際の参考とするため、委員の周囲であった反響などがあれば、この場で共有してもらいたい。
- 【委員質問、意見】
- ・回覧は興味があるものはよく見るが、興味がないものは見ない。友達2、3人にまちづくりパンフレットを見てくれたか聞いてみたが、「見た記憶がない。」「眼鏡をかけないと見られない文字なので見なかった。」「内容が自分には関係ないと思った。」といった意見をもらった。現在の状態でまちづくりパンフレットを回覧から全戸配布にしても、見てもらえないと思った。
 - ・回覧するのは良いが、内容を一度に載せすぎている。今後回覧を行うのであれば内容を何回かに分けて、字を大きくした方が良い。
 - ・見てもらえるような景品を付ける、クイズを載せるなど、興味を引くようなものはないか。パンフレットを見た後に捨てずに保存してもらえるようにするには、どうすればよいか。
- 恋野地区第二層協議体『あったか恋し野』で発行している『あったかだより』は、

個別配布を行っている。発行しているだけで見てもらえていないという不安があったので、クイズの回答者のうち抽選で当選した方にささやかなプレゼントをつけることにした。徐々にクイズに答えるとプレゼントがもらえるという認知度が高まっている。

→橋本市では災害時の食糧備蓄があるのでそういうのを活かしてはどうか。

- ・発信する手法などについてはプロにお金をかけて依頼したほうが良いのではないかな。
- ・中身を理解してもらうこと、価値をわかってもらうこと、行動に移してもらうこと、目的によって出し方が変わってくる。私たちは行動したら理解できるということが多々あると思う。まちづくりパンフレットには活動を伴う取り組みがたくさんあるので、協働を体験してもらってはどうか。そうすれば活動団体への評価、協働への理解にもつながる。

【まとめ】

- ・今後まちづくりパンフレットを出す際は内容を絞り、もう少し大きな字で掲載する。まちづくりパンフレット等、情報発信を今後も続けていくことを確認した。

3. 議事

① はぐくむサポーター交流会

事務局より説明

- ・提言書の中ではぐくむ委員とはぐくむサポーターの情報を交換するような交流会を行いたいとの意見があった。当初は10月末に交流会を行い、そこで集まったサポーターに11月のすこやか橋本まなびの日を案内、参加してもらう予定とされていたが、コロナ禍により交流会の開催時期は未定となっている。
- ・はぐくむサポーター交流会の実施をこの会で諮っていないので皆さんの意見を伺いたい。

【委員質問、意見】

- ・はぐくむサポーターはどのような範囲の人を指すのか。またどのような活動をしたのか教えて欲しい。

→はぐくむサポーターは条例の応援をしていただける方、市の情報を欲しいと思っている登録者に原則メールで情報発信するもの。以前はぐくむサポーターにご協力いただいて実施したアンケート結果から、はぐくむサポーターは条例や市の活動について興味がある方が多いことが分かった。今後の協働のまちづくりにつなげていくためにもはぐくむサポーターとの交流会を開催したいとの話が出た。

- ・はぐくむサポーターの登録ページにたどり着くまで7回かかる。ページトップに持ってきては。
- 平木市長が協働のまちづくりに力を入れるといているので、ホームページのトップにはぐくむ委員会のバナーを作っては。
- ・サポーター通信は当初に比べて配信回数が減っているなので、今後どうしていくのか、サポーターを増やすためにはどうしたらいいかということも並行して考えていく必要がある。交流会開催は賛成。
- ・会議の内容を動画撮影し、市ホームページに掲載しては。
- 過去に動画を市ホームページに載せる案は出ていた。今後検討していく。
- ・市の職員は職員の役割が条例にうたっているの、サポーターは市民からの方が良いのではないか。
- 職員も市民であるため、限定する必要はないと考える。ただ職員以外の方も増やしていきたいと考えている。10月には広報はしもとに協働のまちづくりの特集ページが掲載される。その中ではぐくむサポーター募集もしている。
- ・学校でも地域学習などで協働の取組みの一部を落とし込むことは可能なのか。
- すでに協働の取組みは実施している。共育コミュニティは学校と地域の人とで考える中で、地域づくりをしている。活動によっては市に提言を出している学校もある。地域での清掃活動などは多くの地域で実施されている。この場で話し合われている協働は、ほかの場ですでに実施されていたりもする。ぜひリンクしてっしてほしい。
- その活動を写真や動画をもっと載せるようにしては。活動を行っているがはぐくむ条例や協働という言葉を知らないのでつなげていくことが大事

【まとめ】

- ・コロナ禍もあるため、様子を見ながら実施する方向で考えていく。
- ・市ホームページのトップからはぐくむ条例のページに直接リンクするバナーを設置する（近日バナー設置予定）。

② グループ分け

事務局より説明

- ・アンケート調査からグループ分けを行う方向で考えている。第一期は基本原則をもとにグループを作成しているので、継続すれば基本原則に則って、調査研究しているといえる。

【委員質問、意見】

- ・3グループに分けて、新しい人をその中へ分けていくのはどうか。
- ・まずは情報共有を3グループで行い、それから市民参画、協働のまちづくりとやったほうが理解しやすいと思うが、第一期からやっている委員さんが3グループ

- でテーマを分けてやっていく方が良いというのであればそうなのかなと思う。
- 第一期は協働のまちづくりグループに所属しており、グループ内で話しにくいとの意見も出ていたが、今までやってきたこともあるのでそれを広げていくという意味でも第一期の3グループに分かれて取り組んでいきたい。
- ・新しい委員は所属したいグループの希望をいえるのか。
 - ・抜けたところに新しい委員を入れるとなると、グループに偏りが出る。
 - ・グループは第一期と同じにして、メンバーは一から決めてはどうか。

【まとめ】

- ・情報共有、市民参画、協働のまちづくりの3グループに分かれ、第一期での取り組みを共有しながら、それぞれのグループで調査研究を行っていく。それぞれのグループでリーダー、副リーダーを決定した。

『情報共有』グループ

田村 亜美（リーダー）、森田 知世子（副リーダー）、
乾 幸八、前田 陽一郎、玉井 勝代、中谷 維志

『市民参画』グループ

戸島 浩子（リーダー）、是枝 美海（副リーダー）、
平家 利也、佐藤 陽子、森川 嘉久

『協働のまちづくり』グループ

東 美樹（リーダー）、上田 ひと美（副リーダー）、
井澗 千恵子、今田 実、岸田 昌章、平田 敬二

③ すこやか橋本 まなびの日

東委員より説明の後、岸田委員より補足説明

- ・11月14日午前9時30分から午後1時30分まで
- ・サブタイトルは『好奇心は夢への第一歩』
- ・今年もはぐくむの木とアンケートを実施したい。
- ・10月5日午後1時30分からすこやか橋本 まなびの日に参加できる人で集まる。市役所1階会議室Bで打ち合わせを行う。
- ・全国障害者芸術文化祭（ふれあいフェスタ）、が同日開催となることからすこやか橋本 まなびの日は開催するが、今回コロナ禍によりブースはパネル掲示のみ。（説明に1, 2名程度）。
- ・舞台上の舞台看板をはぐくむ委員会の有志で行いたい。看板は最長10mで幅が90cm、ペーパーフラワーなどで飾り付けをしてほしい。タイトルはすこやか橋本 まなびの日と第21回全国障害者芸術文化祭を併記する。パソコンで打ち出しではなく筆で書いたりしてほしい。まずは看板作成を引き受けてもらえるかを聞きたい。飾り付けは11月13日の事前準備の時にいき、どのような看板にするかは

10月5日に話し合いたい。

【まとめ】

- ・令和3年度のすこやか橋本 まなびの日のブース出展は展示のみとなる。
- ・10月5日午後1時30分、市役所1階会議室Bに有志による事前打ち合わせを行う。
- ・はぐくむ委員会の有志で11月13日（土）のすこやか橋本 まなびの日の事前準備に併せて舞台看板の製作を行う。看板の文字や飾りつけなどは10月5日の事前打ち合わせで協議する。

④ その他

特になし

4. 閉会

以上

【会議録署名欄】

副委員長 乾 幸八

【會議錄署名欄】

委員 牙象利也

【會議錄署名欄】

委員

東美樹